

雪がた

— 豊科病院だより —



豊科病院広報誌
平成30年11月 5日 発行
発行者 豊科病院広報文化委員会
〒399-8205
長野県安曇野市豊科5777-1
TEL:0263-72-8400
URL <http://www.shironishi.or.jp/>

豊科病院の理念

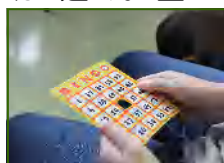
自他を問わず人間を愛し、慈しむ心を礎に、病める人、障害を持つ人、悩める人に常に自分の家族に接するように優しく接し、最良の医療・福祉サービスを提供し、地域の人々の要求及び個別的な要求にも応え、地域で人々が快適に生活できるような支援を行う。

文化祭 盛大に開催



9月7日から2日間に渡って、当院の文化祭が開催されました。この企画は作業療法部が中心になり、精神科デイケアや看護部 事務部等、各部署が協力して開催されたものです。

7日は、作業療法室に、各病棟の患者さんや精神科デイケアの通所メンバーさん、更には



外来の患者さんや面会に来院されたご家族が一同に介し、患者レクリエーション委員会が企画したイベントを楽しみました。

職員による一人羽織では、当院の管理職も参加し、会場は大盛り上がり。また、会場の全員が参加された



ビンゴ大会も、ビンゴが出るたびに歓声があがり、みなさん楽しまれたようでした。

会場となった精神科外来の一部と作業療法室には、当院に入院されている方々あるいは外



来に通院されている方々が、作業療法やデイケアにて、1年かけて作られた力作ぞろいの作品が展示されました。また、作品の展示だけではなく、デイケアなどは、日々の活動についても報告がなされました。



社会制度で安心 ⑦

自立訓練事業所の「案内」

●自立訓練(生活訓練)・宿泊型自立訓練事業所「アルプスホーム」

豊科病院から東に約400mのところに、自立訓練(生活訓練)・宿泊型自立訓練事業所「アルプスホーム」という施設があります。この施設は、主に精神障がい者の方々が、通所あるいは宿泊されながら、自立した生活を送られるよう練習をする当院の関連施設です。

【事業内容】

アルプスホームでは、自立訓練(生活訓練)・宿泊型自立訓練事業所という名前のとおり、2つの事業を行っています。

一つ目の「日中の自立訓練(生活訓練)」は、「地域生活を営む上で生活能力の維持・向上のため、一定の支援が必要な方」が対象です。生活訓練としてその方に合った生活技術の向上と、余暇の充実を目的として簡単な調理やスポーツ、外出等の様々な集団プログラムや個別プログラムを行っています。その他生活等に関する相談及び支援を行います。施設外の地域から通われる方もいれば、施設内(宿泊型)から、この日中の自立訓練(生活訓練)に通われる方もいます。

二つ目の「宿泊型自立訓練」は、地域移行に向けて一定期間居住の場を提供します。対象者は「帰宅時における生活能力等の維持・向上のため

の訓練等の支援が必要な方」です。施設側が朝と夕方の食事を提供し、生活リズムや、日常生活能力の向上を目的として相談、支援を行っています。

【利用Q&A】

Q:定員は?

A:自立訓練(生活訓練)・宿泊型自立訓練、それぞれ20名です。

Q:宿泊型自立訓練の1カ月の利用料はどのくらいかかりますか?

A:家賃1万5千円、共益費2千円、光熱水費は実費をご負担いただきます。加えて食費(朝1食300円・夕1食600円)市町村からの補助制度がある場合は朝食100円・夕1食300円)がかかります。市町村の支給決定の内容により、利用者負担が生じる場合もありますが、1ヶ月分の利用料として施設にお支払いいただく額の目安は、約4万円です。

Q:申し込み利用は可能ですか?

A:日中の自立訓練(生活訓練)・宿泊型自立訓練共に、原則2年です。なお、長期入院や、やむを得ない事情により、長期間



の支援が必要と、市町村が認めた場合は、原則3年が利用期限となります。

Q:職員体制はどうなっていますか?

A:9名の職員が勤務しています。職種はサービスマン管理責任者、生活支援員、地域移行支援員、食事担当職員です。毎日朝7時

〜夜8時まで交代で勤務しています。

Q:入所されている方はどんな生活をしているの？

A:宿泊型自立訓練に入所され、それぞれのペースで日中の自立訓練(生活訓練)を利用されている方がほとんどです。週のうち何日かは会社や、地域の就労継続支援B型事業所(作業所)へ出掛けられる方もいます。

Q:アルプスホームの特色は？

A:日中の自立訓練(生活訓練)では、調理の集団プログラムがあります。「手をかけず美味しくバランスの良い食事を」をコンセプトに、買い物から調理まで、皆さんに行っていたいただきます。アルプスホームを退所された後の生活に活かして頂きたい、というねらいがあります。

宿泊型自立訓練の設備の特色は、三人で一つのユニットで生活して頂くところです。居室はもちろん個室ですが、ユニット毎に玄関があり、リビング、簡易キッチン、トイレ、浴室等が設置されており、三人共同でご利用



いただけます。人間関係が難しい、と悩まれる方もいますが、

適度なプライバシーを保障しながら、身近な生活で社会性を身につけて頂く、というねらいがあります。

Q:施設に規則はあるの？

A:入浴回数、就寝時間、門限などは、特に定めておりません。各ユニットごとに相談して生活のルールを決めています。

Q:レクリエーションなどはあるの？

A:季節の行事や外食など、企画の内容は利用者の方々を中心に話し合っていました。参加は自由です。



【連絡先】

社会医療法人城西医療財団 アルプスホーム

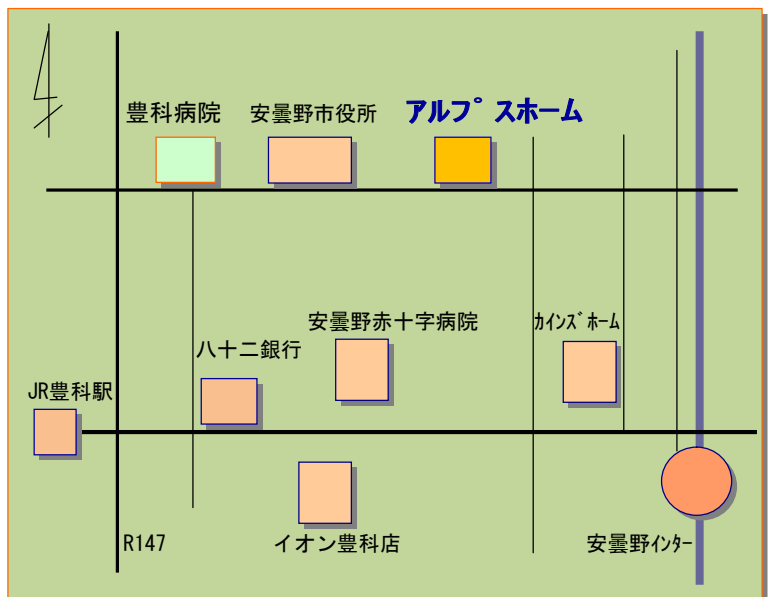
住所：〒700-8801

安曇野市豊科南穂高30046-1

電話：0269-721-6212

FAX: 0269-721-8720

【地図】



秋の収穫と舌鼓

春に、入院患者の皆さんと作業療法部が、当院の休耕地を耕し、種々の野菜を植えました(本誌54号に掲載)。そして、この秋に



無事に収穫ができ、更には作業療法の中で、その食材を調理し、皆さんで秋の味覚を楽しまれました。



グループホーム小旅行 ～上高地の旅～



10月23日、グループホーム第一飛鳥荘と第二飛鳥荘の入居者の皆さんが、「上高地」へ、秋の合同小旅行に行かれました。この旅行は、各荘に入居されているメンバーさんが輪番で幹事となり、企画・運営される恒例行事です。

メンバーの皆さんも同行した職員も、「二十数年ぶり」「高校以来だから、四十年ぶり・・・。」と、近いがゆえに意外と行かない上高地。当日は、旧安曇村の沢渡から、満席のバスで上高地へ入りました。

この日は晴天で、穂高連峰と梓川と紅葉の組み合わせは「お見事」の一言でした。そして何より、諸外国の方々をはじめ、老若男女で賑わう上高地の人の多さに驚かされました。参加されたメンバーの皆さんは「かなり楽しかった。」「コメントされ、信州の観光地をあらためて満喫しました。」

関連施設だより

外来 医師担当表

平成 30年11月 1日現在

曜日	月	火	水	木	金	土
精神科	なかざわ ちとお 中澤 知遠 医師	にしぎとよしあき 西里 吉昭 医師	ごみぶち みつり 五味洸 満徳 医師	おかざき たかし 岡崎 隆司 医師 ※ 9:30～	なかざわ ちとお 中澤 知遠 医師	ごみぶち みつり 五味洸 満徳 医師
内科	いわさ たけひこ 岩浅 武彦 医師	休 診	休 診	まちだりょうすけ 町田 良亮 医師	休 診	休 診

◎ 受付時間 午前 8:00～午前 12:00

◎ 診療時間 午前 9:00～終了まで

※ 午後は全科**休診**となります。

※ 日曜・祝日は全科**休診**となります。

※ご不明な点等は、受付へご確認下さい。
お問い合わせ先 電話 0263-72-8400



～・ 編集後記 ・～

豊科病院広報誌『雪がた』第56号をお届けしました。お読みになっていかがでしたか？

秋も深まり、いよいよ里の木々でも紅葉が見られる季節となりました。安曇野界限でも中房、一の沢、烏川のそれぞれの渓谷や、池田町の七色カエデなどが有名ですね。紅葉にも様々な色がありますが、個人的にはカエデやドウダンツツジなどの真赤に染まる紅葉がお気に入りですが皆さんはいかがですか？

百人一首でも「紅葉」に関連する歌は六首ありますから、昔の人も紅葉を愛でていたようです。そんな「いにしえの時代」にも思いを馳せながら眺めてみると、また一味違って見えるかもしれませんね。

※表題「雪がた」について

春から夏にかけて北アルプスでは様々な雪形が見られ、当院からは常念岳の常念坊や、蝶ヶ岳の蝶などの雪形を正面に望むことが出来ます。雪形が季節の変化に合わせて融けるように、患者様の病も融ける・・・表題にはそんな願いが込められています。

(表題の写真は当院屋上から撮影しました。)